

ゴミ焼却場と気候危機打開を考える学習会 「民営化ほっておけない」と会場いっぱい100人



「初めて聞いた」「よくわかった」と

8月20日、碧南文化会館で「ゴミ焼却場と気候危機打開を考える学習会」が開かれまし
た。碧南市、高浜市はじめ南知多町、長久手
町、日進市、名古屋市、刈谷市から100名
近くが参加。熱気あふれました。

猛暑、豪雨、山火事など「地球が沸騰」と
国連がいうほど深刻な気候危機。その元凶の
二酸化炭素を日本一排出している中部電力(株)
や、JERAは石炭火力発電所の延命にアン
モニア混焼でごまかそうとしています。

その中部電力に、一般廃棄物まで焼却場を
つくり委ねようとしている禰宜田碧南市長。
参加者からは、初めて聞いた。総合的にごみ
の問題がよくわかった。と感想が寄せられま
した。

国のゴミ行政の問題点



講師の岩佐恵美さんは国のゴミ行政は「焼却中心、大型焼却炉建設、ゴミ発電を推進。自治体は建設費やランニングコストがかさみ財政負担増となっている。二酸化炭素削減にはゴミ減量しなければならぬのに「燃やせ燃やせ」となっているとズバリ。ゴミ発電は、廃プラスチック焼却促進となること。国が決めた「プラスチック資源循環法」を地方自治体にも徹底させることが必要と指摘しました。

民間の産廃ではデータ隠しも

碧南市と中電が示しているように、一般廃棄物と産業廃棄物が混焼することになれば「何をどれだけ燃やしているのか」把握できなくなりデータ改ざんや隠しもやれてしまします。だが、空気や環境を監視できませんか。

事業ごみはもっと削減可能

岩佐さんの、東京都立川市ではゴミ減量を市民と行政が取り組み、事業ごみの全量チェックも実施。碧南市の事業系ごみ331(g/人日)の5分の1の74(g/人日)にできています。

焼却炉もっと小型化可能

現在衣浦衛生組



合の焼却炉は、日/95t×2基で190t/日、処理の炉です。しかし稼働率は8割ほど、生ゴミ、剪定枝、プラスチックを、リサイクルすれば、もっと焼却炉の小型化が可能です。

静岡県掛川市では人口115,488人。菊川市47,789人の合計163,277人で120tの焼却炉にします。碧南市72,546人。高浜市49,226人の合計121,772人なら120t以下にすることも可能です。こういうことができるのは、ゴミ減量の施策と計画をつくり市民と共に行える公設公営でこそです。

市民の力で利潤優先でなく安心安全なまちに

中電に丸投げして、癒着・談合のごみ焼却場では、建設業者や運営する中電の利益優先で、高い買い物をするようになります。

将来にわたって、安心安全な環境とまちにするために市民の力で民設民営化を止めましょう。

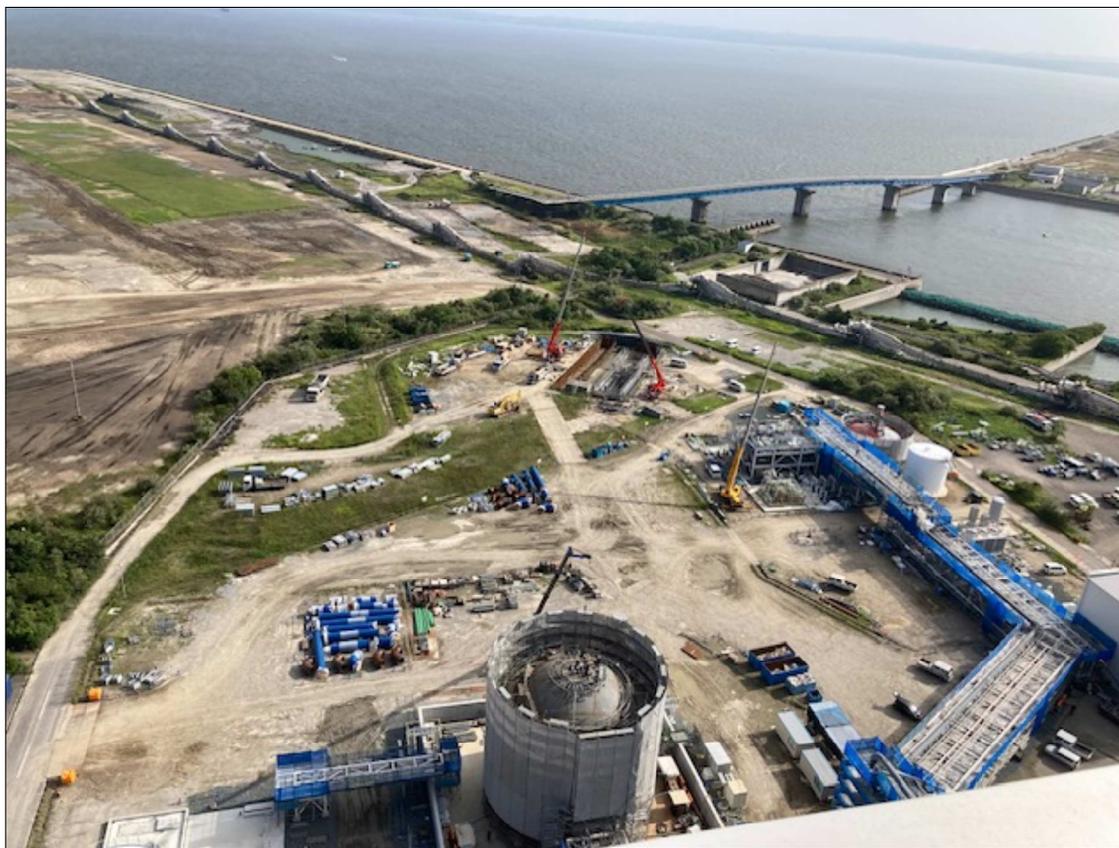


原発ゼロ
再エネで自給率UP

太陽光
大風力
バイオマス

自然エネルギー先進国に 日本共産党

J E R A 石炭火力発電所 視察しました アンモニアは二酸化炭素出す「グレーアンモニア」



1・2号機を即時停止に

8月18日、碧南市議会はJ E R A碧南石炭火力発電所を視察しました。日本共産党山口はるみ、岡本守正議員もアンモニア混焼の実証実験の状況を見てきました。

説明では、1号機（70万kw）2号機（70万kw）は、非効率炉で停止が決められています。

しかし実態は国の指示待ちで、2030年まで、あと7年間も延命しようとしています。

2030年まであと「0.4度」以内

2030年までに、気温の上昇を1.5度以下に抑えないと、地球の循環能力を超えて、後戻り

できなくなりします。現在1.1度まで上昇してしまっているのは0.4度しかありません。まったなしの状況です。すでに廃炉が予定されているものは停止し140万kwの発電で発生する二酸化炭素を減らすことはできません。



地球や人類の未来も救う道です。

アンモニア生成時の二酸化炭素は未成功

アメリカのメキシコ湾と、ノルウエーでアンモニアの生成をする計画です。

●生成時に二酸化炭素を出さないもの
●グリーンアンモニア

●生成時に発生する二酸化炭素を回収するもの
●ブルーアンモニア

このどちらも、今だ開発されず実用化されていません。

結局生成時に二酸化炭素を出しつばなしの「グレーアンモニア」

を碧南では使う予定とのこと、これでは本末転倒です。日本を代表する大企業が、国際市場から石炭火力発電所から生産された製品の不買運動や融資拒否がおこなわれていること。石炭や原発

をやめる世界の動向を知りつくしているのに、国民騙しのアンモニア混焼に莫大な費用を費やしているのです。

省エネ・再エネへの

転換こそ未来への道

国も中電も、石炭に固執せず「省エネ・再エネ」に切り替えることが、企業の未来も、



<http://hekinan.jcpweb.net/>
日本共産党碧南市会議員団のホームページをご覧ください。

日本共産党碧南市委員会



市議会議員
山口はるみ
☎42-8940
三度山町 2-70-4



市議会議員
岡本守正
☎41-5357
笹山町 6-29



市民運動部長
磯貝明彦
☎48-2718
若松町 3-253

大軍拡・増税許すな

へきなん 19 行動

9月19日（火曜日）午前11時～12時

ピアゴ碧南東店

東浦町 6-17 （日進小学校南）

若者16人の訴え勝訴 化石燃料依存は違憲

アメリカのモンタナ州で若者16人が「化石燃料に依存する州の政策は地球温暖化を加速させ若者の未来を奪っている」と地方裁判所に訴え。

8月14日に「原告勝訴」の判決を出しました。

日本政府も中電依存の碧南市も心して受け止めるべきです。